

庁議の概要

開催日 令和8年4月1日（水）

◎項目

- 1 新任会議メンバー・副知事からの挨拶
- 2 知事訓示

◎内容

1 新任会議メンバー・副知事からの挨拶

部局長級の新任会議メンバーから挨拶があった。

○副知事

部局長との意思疎通を図っていきたい。知事も知事会の役職に就くなど時間がとれない場合があるので、そのようなときは副知事に相談するようお願いしたい。

部局長になると職責が重くなるが、抱え込まずに手前で相談するようお願いする。また、事案によっては部局長の判断のみでよいか、知事・副知事の判断は不要かという点について注意してほしい。

最後にガバナンスについて、県立美術館で建築基準法に定めた点検を行っていなかった件は、公務員の法令遵守が徹底されていなかったこととして恥ずべきことである。一方で、一番の問題は、間違いを発見したにもかかわらず情報共有がされていなかったこと。そのために対応が後手に回ることとなった。各部局長には、ミスや失敗の報告がすぐに上がってくる組織作りをしてほしい。

2 知事訓示

基本姿勢として、「共感と前進」の県政を引き続き継続する。

人口減少対策として、高付加価値型経済への転換をめざし、重点支援交付金を活用し、県単で約15億円の所得向上総合補助金、約9億円の賃上げ補助金、約3億円の男性育休取得促進への支援金制度を創設した。幅広く活用していただくために、分野横断的に各部局がPRするように。執行状況を見たときに各部局が所管する事業者で補助金、制度が活用されていることを期待する。

多様な人材が活躍できる環境の実現に向けて、率先垂範していきたい。時間外勤務手当については、自治体では全国初となる割増率の時限的引き上げを行う社会実験を行っている。時間外勤務縮減については、難しいところもあるかもしれないが、全国から注目をされているのでしっかりと取り組んでいただきたい。

官民連携について、大石参与の登用もあり一層励んでいただきたい。そのために業務に当たる際は、前例にとらわれず柔軟に対応いただきたい。また、専門性重視の縦割りの対応ではなく部局横断的な対応を行うようお願いしたい。もう一点は、スピード感をもって業務に当たっていただきたい。

組織作りについて、副知事の言ったことと重なる部分はあるが、直すべきところは直し、健全な高知県庁として未来に引き継いでいってほしい。おかしいと思った

ら上席と共有する習慣をつけてほしい。

業務をするに当たっては縦割りにならないように。どの部局も引き取らず業務が滞ることのないよう注意していただきたい。部局長は知事の立場に立って、複眼的な視点に立って考えてほしい。

多くの部局長が新メンバーとなったこの機会に、「生まれ変わる勇気」を発揮し、新しい気持ちでこれまでにない試みを提案し、果敢に挑戦し、「全体の奉仕者」という原点に立ち、自らの使命を問い直し、挑戦と進化を重ねて欲しい。